



社会の持続的な発展への貢献

1 「安全」への取り組み



地域の安全な暮らしを実現するため、交通安全活動、災害救援活動に貢献します

2 「環境」への取り組み



豊かな地球環境づくりのため、地域の環境保全活動や道路事業に関連した環境技術の開発に貢献します

3 「地域の元気」への取り組み



- 安心** 高齢者、児童、障がい者などの方々が地域で安心して暮らしていけるよう、医療・福祉など生活環境の均衡に資する活動に貢献します
- 活力** 活力ある地域社会の自立的な発展のため、地域産業活性化や観光振興に貢献します



4 グループ社員の社会貢献活動参加に対する奨励・支援



清掃やイベント運営ボランティアとして、地域イベントに参加するグループ社員を応援しています

5 西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部による社会貢献活動



SA・PAの売上金の一部を活用し、盲導犬育成や認可外保育施設などを支援しています

を中心とした個人の皆さまにもご参加いただき、高速道路のみではなく、一般道路も含め、社会全体で運転への意識を変えていくことを目指しています。2014年3月末現在、200を超える企業・団体、約18,700人の個人サポーターの皆さまにご参加いただいています。

今後も交通事故をゼロにするため、1人でも多くの方に「愛する人、思い出してから運転」を実践していただけるよう、「DRIVE&LOVE」のメッセージを発信していきます。



公式ウェブサイト: <http://drive-love.jp/>



DRIVE&LOVEイベントの様子 DRIVE&LOVEメンバー交流会(福岡会場)

社会貢献活動の方針

NEXCO西日本グループでは、高速道路の重要な社会インフラとしての役割を果たすとともに、以下の方針のもと、会社と社員が協力して積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

1. 社会貢献の目的

NEXCO西日本グループは、安全な暮らし、豊かな地球環境、安心と活力ある地域社会の実現に向けた取り組みを通じて、社会の持続的な発展に貢献します。

2. 活動方針

活動にあたっては、地域社会との対話と交流に努め、これまで培ったノウハウや資源を活かしてグループ一丸となった社会貢献活動に取り組めます。

3. 重点分野

「安全」「環境」「地域の元気」の活動に重点的に取り組みます。

1 「安全」への取り組み

交通安全啓発のイベント・講習会を開催しています

高齢者や子どもが地域で安心して暮らせるよう、地域の警察や交通安全協議会、市町村やJAFと連携し、交通安全教室や講習会、キャンペーンを行っています。これらの活動では、紙芝居を使うなどわかりやすさを心



NEXCO西日本パトロール関西による交通安全の紙芝居

がけながら、シートベルト着用の重要性や横断歩道での安全確認の仕方、飛び出し事故の怖さなどについてお伝えしています。今後も地域の皆さまが安全に暮らせるよう各地域で開催していきます。



NEXCO西日本パトロール九州による地元小学校での交通安全啓発

みんなでいっしょに交通事故ゼロを目指すプロジェクト“DRIVE&LOVE”を推進しています

NEXCO西日本グループでは、みんなでいっしょに交通事故ゼロを目指すプロジェクト“DRIVE&LOVE”を推進しています。

“DRIVE&LOVE”では、各地のイベントやウェブサイトなどを通じて、「愛する人、思い出してから運転」を合言葉に安全運転を呼びかけています。

プロジェクトには、企業や団体の皆さま、一般ドライバー

社外コメント

楽しく交通ルールやマナーを学べ子どもたちの安全意識が高まりました



福岡市立三筑小学校PTA 副会長 三筑さんあいネットフェスタ 実行委員長 清水 良 様

三筑小学校PTAが主催する地域交流祭り「三筑さんあいネットフェスタ」では、NEXCO西日本の佐賀高速道路事務所の皆さまやナビコン君にお越しいただき、交通安全教室を開催していただきました。

交通のルールやマナー、知識について、クイズなども交えながら楽しく教えていただき、子どもたちも交通安全のためにどんな点に気をつければいいのかをよく理解できたのではないかと思います。また機会があれば、子どもの事故が発生しやすい原因や状況についても、話を伺いたいです。

2 「環境」への取り組み

「つなぎの森」で森林再生に取り組んでいます

西日本各地の地方自治体と協定を締結し、森林保全に取り組んでいます。2013年度は、自治体や森林組合とともに、6カ所で植林や間伐を行いました。これにより、年間約37トンのCO₂が削減できた見込みです。

引き続き、西日本各地で地方自治体などと協力し、森林保全に取り組んでいきます。



つなぎの森
湯布院での
活動参加者

3 「地域の元気」への取り組み

職場体験や現地見学会を実施しています

料金所見学や料金收受業務体験、SA・PAでのエリア清掃やテナントでの商品管理など、小・中学生の職場体験を積極的に受け入れています。また、沿線周辺の小学校に対しては、グループ社員が講師となって出張学習会を実施しています。

今後も「地域の元気」に貢献できる活動に取り組んでいきます。



地元中学生による職場体験学習
(香川高速道路事務所)



地元小学生の道路見学会
(長崎高速道路事務所)



資源ゴミを集めて車を
福祉施設へ寄贈
(NEXCO西日本サービス中国)

4 グループ社員の社会貢献活動参加に対する奨励・支援

多種多様なボランティア活動に参加しています

西日本各地のボランティアに関する情報を提供するなど、グループ社員の自主的な社会貢献活動を奨励・支援しています。

2014年度もより多くのグループ社員のボランティア活動を支援していきます。



三次きんさい祭の後の
地域清掃ボランティア
(三次高速道路事務所)



東日本大震災復興
応援イベント
(在阪グループ社員)



京都マラソン
運営ボランティア
(在阪グループ社員)

社員コメント
comments

NEXCO西日本パトロール関西

ふだんできない経験ができ社会貢献にもつながる
ボランティア活動を今後も続けていきたい



京都基地 隊員
野村 智久

毎年「大阪マラソン」のボランティアに参加し、2013年は地元で開かれた「京都マラソン」のボランティアに、基地の仲間6人と参加しました。ゴール地点で完走したランナーにバナナや手さげ袋を渡したり、他のボランティアスタッフが一致団結してランナーをサポートしている姿を見ているうちに、私もフルマラソンに参加したい気持ちが

わいてきました。日頃は管内高速道路のパトロールをしていますが、ボランティア活動は業務とは違う経験ができ、社会貢献にもつながるので今後も続けます。東日本大震災の被災地支援活動にも参加したいですね。

5 西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部による社会貢献活動

SA・PAの売上金の一部を活用し
地域社会への貢献に取り組んでいます

西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部は、西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)とSA・PAの店舗を運営しているテナント会社で構成されており、SA・PAの売上金の一部を活用し地域社会への貢献に努めています。

盲導犬の育成支援を行っています

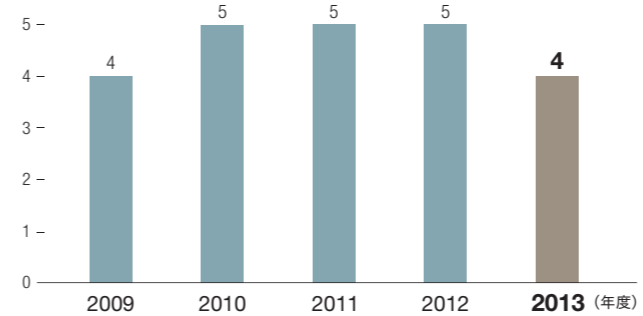
現在、日本では補助犬のうち1,013頭(平成25年7月1日現在)が盲導犬として活動していますが、盲導犬を必要とする方は約7,800人いると言われており、まだまだ不足している状況です。

盲導犬の育成には、1頭につき約2年の歳月と300万円以上の費用が必要となり、自治体等からの補助金のみではその費用を賄いきれず、不足分は街頭募金や寄付金で補われ、経費面から育成頭数に限界があるのが現状です。

このような現状を踏まえ、2007年度より盲導犬の育成費として支援を開始し、不足する盲導犬の育成に寄与しています。

2013年度は4頭の盲導犬の育成費を支援しました。2014年度も、支援を継続する計画です。

盲導犬育成支援数(単位:頭)



26カ所の認可外保育施設を支援しています

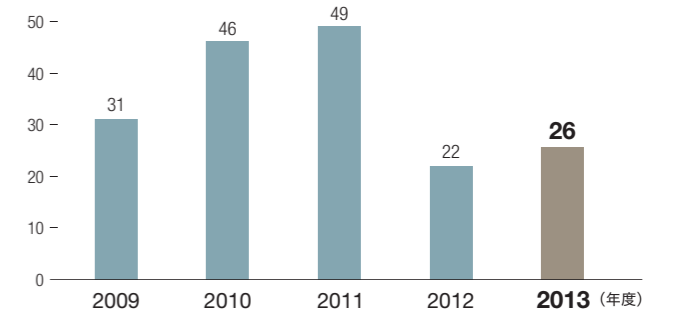
「安心して子どもを生み育てられる社会の実現に貢献する」というスローガンを掲げている当倶楽部では、2009年度から、「働くお母さん」に高いニーズがある夜間・休日保育や一時預かりなどのサービスを提供している西日本の認可外保育施設への支援を行っています。

支援にあたっては、全保育施設に占める認可外施設の割合が、関西、中四国、九州の各地区で最も高い府県

で実施することとし、一定の条件を満たし、支援を希望された、当該府県の施設すべてに支援金を給付しています。

2013年度は、26施設(昨年度以前からの継続を含む)への支援を実施しました。2014年度も、支援を継続する計画です。

認可外保育施設の支援数(単位:施設)



さまざまな支援活動に継続的に取り組んでいます

西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部では、そのほかにも以下の支援活動を行っています。

- ・産科医師育成奨学基金
- ・助産師育成支援奨学基金
- ・産婦人科サマースクールを支援 など



産婦人科サマースクールに参加された方々

社外コメント
comments

地域の発展・繁栄につながる社会貢献活動に
倶楽部会員の皆さまとともに取り組んでいきます



西日本高速道路エリア・
パートナーズ倶楽部
関西地域会 会長
西村 隆至 様

関西地域会では、災害救助団体や盲導犬団体、環境団体への支援など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。最近では働く女性の子育て支援に力を入れ、認可外保育園に寄付し、遊具の購入やエアコンの更新に役立ててもらうなど、子育ての環境充実に寄与しています。認可外施設は公共からの支援が弱いため、施設側には大変喜んでいただき、活動は新聞にも掲載されました。

今後も現在の支援活動を継続するとともに、さらなる地域の発展・繁栄につながる社会貢献活動に、倶楽部会員の皆さまとともに取り組んでいきたいと考えています。